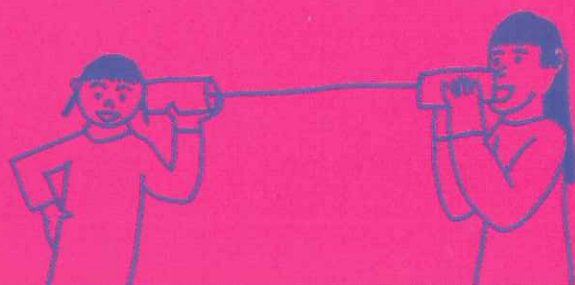


知ろう

障害のある人たちのアートのコト

表現のコト

街のコト



2021/1/30 (sat)

14:00~17:00

小川町立図書館

視聴覚ホール

定員50名 参加無料

【講師】 鹿野淳/アサダワタル/平山雅士

令和2年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業
主催 社会福祉法人 昴 ART(s)さいほく

知ろういろいろなコト

ART(s) さいほくでは障害のある人たちのアート活動支援をはじめ、その魅力の普及に取り組んでいます。本研修では、障害のある人たちのアート活動についての入門的なお話し、表現やアーティストとの向き合い方、魅力の伝え方やまた街の取り組みなど様々な視点から学びます。研修を通じ表現や私たちが暮らす街のコト、そして人へのかかわりがさらに楽しくなれば幸いです。

講師紹介



知ろう表現のコト アーティストや表現との向き合い方 魅力の伝え方

鹿野 淳

音楽ジャーナリスト、出版社(株)FACT代表取締役
1990年(株)ロッキング・オン入社。その後、『BUZZ』、『ROCKIN'ON JAPAN』の編集長を歴任。2004年(株)FACTを設立。2006年にサッカーカルチャー雑誌『STAR SOCCER』、2007年3月には音楽雑誌『MUSICA(ムジカ)』を創刊。
フェスプロデューサーとしても『ROCK IN JAPAN FES』に始まり、『COUNT DOWN JAPAN』『ROCKS TOKYO』などに初回からオーガナイザーとして関わり、現在は埼玉県最大のロックフェス『VIVA LA ROCK』の主催とプロデュースを手掛け、4日間通じて毎年8万2千人以上が集まる、春フェス最大級のフェスに成長した。その他、編集/執筆活動のほかテレビやラジオ出演、音楽ジャーナリスト養成所『音小屋』の開校等、音楽ジャーナリズム全般をクロスオーバーさせている。



【会場アクセス】

住所：埼玉県比企郡小川町大字大塚9番地1
東武東上線「小川町」駅より徒歩8分



知ろう障害のある人たちのアート活動のコト 全国の取り組みや魅力について

アサダワタル

(文化活動家・社会福祉法人愛成会品川地域連携推進室コミュニティ・アートディレクター)
1979年生まれ。2000年代半ばより「社会活動としてのアート」を、全国各地の商店街や学校、福祉施設や復興住宅などで展開。2008年に「住み開き」を提唱し話題に。2019年より品川区立障害児者総合支援施設にてアートディレクター(社会福祉法人愛成会所属)。著書に『住み開き増補版(ちくま文庫)』、『ホカツと家族(平凡社)』、『想起の音楽(水曜社)』、『アール・ブリュットアート 日本(編著、平凡社)』など多数。東京大学大学院、京都精華大学非常勤講師、博士(学術)。

知ろう街の魅力 小川町のコト



平山雅士

NPO法人小川町創り文化プロジェクト(まちぶん)事務局長。
1961年生まれ
2015年に東京都内より隣の寄居町に引っ越し、小川町で連れ合いと共に「たまりんど」という【人の集まる場】となる店を開き、小川町のまちづくりに関わる。2016年に小川町創り文化プロジェクト(まちぶん)を立ち上げる。町の名士や美術・建築などの専門家とともに、同町の歴史的建造物の保存・利活用のための活動を行っている。活動を通じ同町に新たなコミュニティの誕生や埼玉県の「景観モデル地区」への指定、建物が2020年文部科学省により「登録有形文化財」の指定答申を受けるなど、県や国の行政からも高い評価を受けている。
教員一家に生まれ、自分自身も学習塾の講師を長く続けていることから、教育にも関心が深い

【お申込み方法・お問合せ】

電話・もしくはメールでの受付になります。(先着順 定員50名)

■電話での受付 0493-81-4597

平日10:00~17:00 土日祝・年末年始は留守番電話対応
留守番電話の場合

①お名前②申込み人数③連絡先(電話番号)をメッセージに入れてください。
おりかえしご連絡いたします。

■メールでの受付 arts_saihoku@subaru-swc.com

①お名前②申込み人数③連絡先(電話番号)をお書きください。

※12/29(火)~1/3(日)年末年始休業の為、事務局不在になります。

電話・メールのお申込みの方ともに、お返事は1/4(月)になりますのでご了承ください。

【同時開催】

アートセッションズinさいほく2020
アートセッションinひき
1月23日(土)~31日(日)
※25(月)28(木)休館
小川町図書館町民ギャラリー

東松山市・比企郡の障害のある人たちの作品を展示いたします。



情報や活動の様子はコチラからご覧いただけます

■ART(s)さいほく facebook

■groovin4597 インスタグラム

新型コロナウイルス感染予防について以下に取り組みます。
●アルコール消毒液の設置 ●館内消毒 ●換気 ●広めの席配置
●参加者とスタッフの検温 ●マスクの着用 ●参加者の連絡先の把握等。
※状況の変化に伴う延期・中止のご連絡は、個別に電話やEメール等でご連絡いたします。